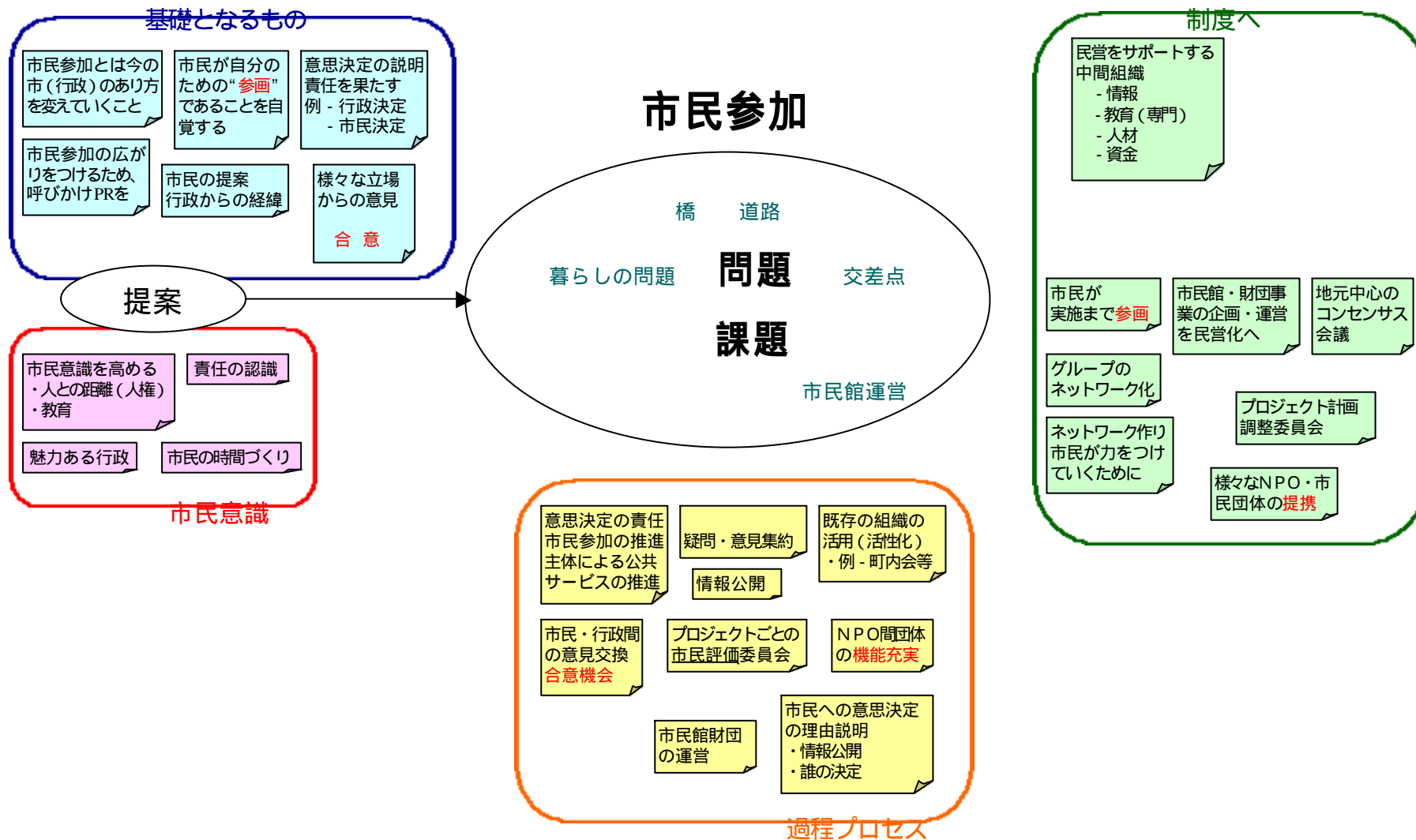


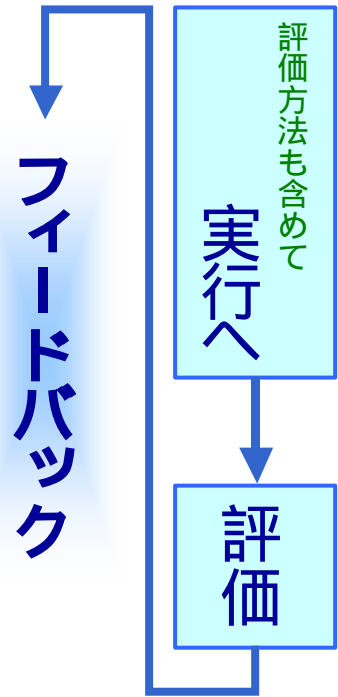
第6回市民会議 Aグループ白板

区の自治	市役所に関する	他の都市との関係	自治の考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区長公選 (住民の意志反映)</li> <li>• 区議会開設 (提案の受け皿)</li> <li>• 参画意識</li> <li>• 住民参加しやすい仕掛け作り (清掃工場の煙突の色)</li> <li>• 町内会の意識改革</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 区の街づくり提案をした “没”               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 縦割り行政</li> <li>- 継続性がなかった</li> </ul> </li> <li>従来：議員経由 これから：市役所</li> <li>• 生涯学習 (0才~死ぬまで) (健康福祉 教育委員会 保育部署)</li> </ul>	<p>東京との関係を 考えながら・・・</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域性 行政区でなく生活圏で考える</li> <li>• 法律の谷間・外に関すること</li> <li>• 住民の話し合い ルール 利害調整</li> <li>• 住民の意識 (お役所に任せる) 子どもの時から学習</li> <li>• 公開と評価</li> <li>• 法律に反するからダメ               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 法律を変えていく</li> <li>- 特区</li> </ul> </li> <li>• 働いている人達(男性)の 参画意識を高めたい</li> </ul>





# 方法 (制度づくり ほんとうの解決は?)



問題解決したか  
社会がどう変わったか  
成果がどのようなものか

**時間をかけた話し合い**

賛  
信念  
意見

否

合意

知らないことを知る  
意見が変わる  
新しいアイデア

見方を変えて折り合いをつける  
「イギリスの例」サンプリング、  
千件を超える意見、説明、報告に  
よって反映される

誰か特定の人の意見だけに偏らな  
い

参加

参加したら逃げない  
意見が消えないように  
特定のプロセスを明確に  
ルールに対しての説明  
理由が明確であること

### 実行の主体

だれ？

民営化

教育・福祉〓行政の固有

社会教育・民の範囲

市民レベルのもの

相談

行政で行うべきもの

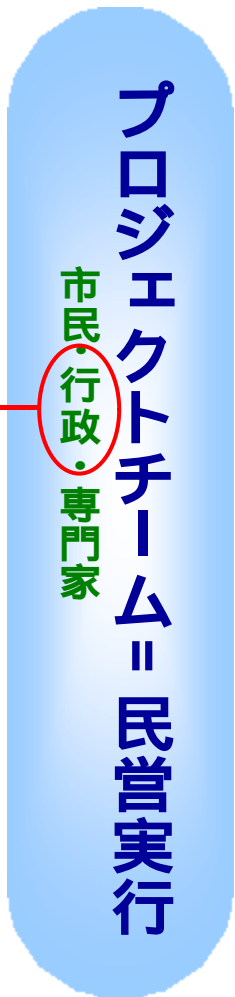
協働のレベルで担うべきもの

### 評価の主体

だれ？

多様な主体で

パートナーシップ  
 (委託・受託を除く)  
 一緒に決める  
 NPOがともに行う  
 最終責任は？個人・行政  
 両方が責任を  
 実行委員などもあり、  
 もっと詰めて考えるべき



市民力を

変わらないと行政が強すぎる  
縦割りではなく、区の権限を強化